

新しい風

倉敷市立琴浦南小学校
平成27年 6月15日
No.8

豊かな感性を・・・

朝の時間にボランティアの方に本を読んでいただく「お話タイム」を行っています。読み語りの世界を通して心のふれあいをはかり、聞く力、相手の心を感じる力を育てていきたいと考えています。ボランティアの方が、次に担当する子どもたちの姿を想像しながら選んでくださった本、そこには、本の内容以上に、温かいぬくもりが感じられます。朝の素敵なひとときは、静かに心の落ち着いた1日のスタートにつながります。



すぐに結果が求められ、目に見える形での成果が期待される現代だからこそ、ゆっくり時間をかけて、ささやかなことの継続、積み重ねを大切にしたいものです。

『 ボランティアのみなさま いつもありがとうございます 』

ボランティアの方からの一言



静かによく聞いてくれました。パーソロミュートネリーの人間愛が伝わっているといいなあとと思います。

くりかえしとことばのリズムのおもしろさ、どうなるのだろうという思いがあり楽しんで聞いてくれた。

学校の図書室にもある本なので読んだことのある子どもが多かったようで「知っている」という声がたくさんありましたが、みんな静かに聞いてくれました。

始め少しざわざわしていましたが、読み始めたら静かに反応よく聞いてくれました。ことわざの出る本だったので、読む前に何か知っていることわざありますか？と聞いたら「花よりだんご」ってこたえてくれました。

少し幼い本かと思いましたが、とっつきやすかったようです。静かに聞いてくれました。そらまめのさやを知っている子は4～5人でした。

うみぼうずを知らなかったで、なんだろうと一生懸命聞いてくれました。



もうすぐクワガタを目にするので、やさしい気持ちで接してほしいと思います。

大好きな本を読みました。時折、「手品師さいあくやなあ」などつぶやきながらも静かに聞いてくれました。

とても反応よく聞いてくれたので読む方も楽しかったです。机を下げてから全員が座って静かになるまで、去年よりは短い時間でした。

【読み聞かせ本の一部】

「夏美と藤原」「100万回生きたねこ」「こねずみちょうちょう」「ひとあしひとあし」「しげちゃん」「うめのみとり」「とつとつきのとつかえっこ」「いわんこっちゃん」「そらまめくんとめだかのこ」「クワガタと少年」「としょかんライオン」「きつねのうみぼうずき」「ええところ」「のっぺらぼう」「みつつのねがい」「りんごかもしれない」「大きくなれ」

